



平成 22 年 8 月 11 日

各 位

上 場 会 社 名 株 式 会 社 イ ン タ ー ト レ ー ド
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 尾 崎 孝 博
(コード番号：3747 東証マザーズ)
(URL：http://www.itrade.co.jp/)
本 社 所 在 地 東 京 都 中 央 区 八 丁 堀 四 丁 目 7 番 1 号
問 合 せ 先 管 理 本 部 広 報 ・ I R 室
電 話 番 号 0 3 - 3 5 3 7 - 7 4 5 0 (代 表)

平成 22 年 9 月期通期の連結・単体業績及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成22年5月13日に第2四半期決算短信で公表いたしました平成22年9月期（平成21年10月1日～平成22年9月30日）の通期業績予想を下記のとおり修正しますので、お知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 9 月期の通期業績予想数値（平成 21 年 10 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

(連結)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,380～4,530	60～160	15～115	△245～△195
今回修正予想 (B)	3,970	△275	△290	△920
増減額 (B-A)	—	—	—	—
増減率	—%	—%	—%	—%
前期実績 (平成 21 年 9 月期)	5,386	68	△26	△222

(単体)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	4,350～4,500	50～150	10～110	△250～△200
今回修正予想 (B)	3,960	△270	△310	△890
増減額 (B-A)	—	—	—	—
増減率	—%	—%	—%	—%
前期実績 (平成 21 年 9 月期)	5,232	53	14	△798

2. 平成 22 年 9 月期通期業績予想の修正の理由（連結・単体）

・連結

当初見込んでいた売上計画に対し、未達となる見通しとなりました。売上原価、販売費及び一般管理費も当初予算を下回る見込みですが、売上未達の幅が大きく、上記数値への修正となりました。

当初計画においては、新会計基準対応パッケージソフト、仕組債評価システム等の売上を今期見込んでおりましたが、販売先として見込んでいた地域金融機関の対応が想定以上に慎重であり、今期の売上

に貢献しない見通しとなりました。また、その他プロダクトにおいても、研究開発案件の遅れなどの影響で、当初見込んでいた案件の一部が、今期中の納品に至らない見込みとなりました。

また通期で、投資有価証券売却による特別損失 305 百万円及び繰延税金資産の取崩し 220 百万円が発生する見込みとなり、当期純利益段階で大きく下方へ修正することとなりました。繰延税金資産の取崩しについては、当該資産の回収可能性の見直しが主な要因となります。

- ・単体

上記と概ね同様の理由となります。

引き続き、適時開示規則に則り、その都度ご報告してまいります。

(注) 1. 業績予想数値について

上記の記載した内容は、本リリースを公表した時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

3. 今後の施策

① 証券ソリューション事業における収益性強化

当社の主力事業であり、最も収益が見込める証券ソリューション事業に経営資源を集中し、トレーディング業界でのプレゼンスを一層強固なものにいたします。

- ・ 顧客の収益アップに貢献するソリューションの提供
- ・ トレーディングの将来像を描き、具現化するための研究開発

以上を実行し、顧客と共に成長する企業として、来期以降の収益力回復につなげます。

② コスト構造の聖域無き改革

人件費の削減を含む、コスト構造の聖域無き改革を徹底して実行します。

③ 不採算事業の整理・縮小

当社には 3 つの事業本部があり、また子会社としてインタートレード投資顧問株式会社があります。各事業体の損益実績及び将来の収益性については継続的に検証しております。成長性の高い事業体への経営資源の集中を更に加速し、不採算事業については整理・縮小を行います。

なお、上記の内容につきまして、具体化しましたら、改めて、適時開示いたします。

④ 資産の整理による財務健全化

昨年より、証券ソリューション事業とのシナジーが低いリスク資産の売却を進めており、第 12 期においてはソルクシーズ株式等投資有価証券の売却により、合計約 305 百万円の特別損失を計上する予定です。主要なリスク資産の整理は一段落いたしますが、引き続き、余剰資産の整理を継続いたします。

4. 配当予想の修正

(1) 配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金	
	期末	年間
前回予想 (平成22年5月13日)	(未定)	(未定)
今回修正予想	0円00銭	0円00銭
前期 (平成21年9月期)	0円00銭	0円00銭

(2) 修正の理由

当社は、当社株式を保有していただいている株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要な政策の一つとして位置付けており、財務基盤の健全性、今後の事業展開のための内部留保等を勘案しながら、業績に応じた安定的な配当の継続を行うことを基本方針としております。

当社第12期の配当につきましては、平成22年5月13日に開示いたしました第2四半期決算短信において、今期の配当を「未定」とさせていただきましたが、この度の業績予想修正を受けて、株主の皆様には大変申し訳なく存じますが、今期の配当を見送らせていただきます。

以上